

長期・積立・分散投資とNISA制度



2020年10月13日

金融庁 総合政策局 総合政策課

塚本 俊太郎

1. 「人生100年時代」の資産形成

2. NISA・つみたてNISAについて

3. その他

1. 「人生100年時代」の資産形成

2. NISA・つみたてNISAについて

3. その他

60歳の人が各年齢まで生存する割合

	2015年推計	1995年推計
80歳	78.1%	67.7%
85歳	64.9%	50.0%
90歳	46.4%	30.6%
95歳	25.3%	14.1%
100歳	8.8%	—

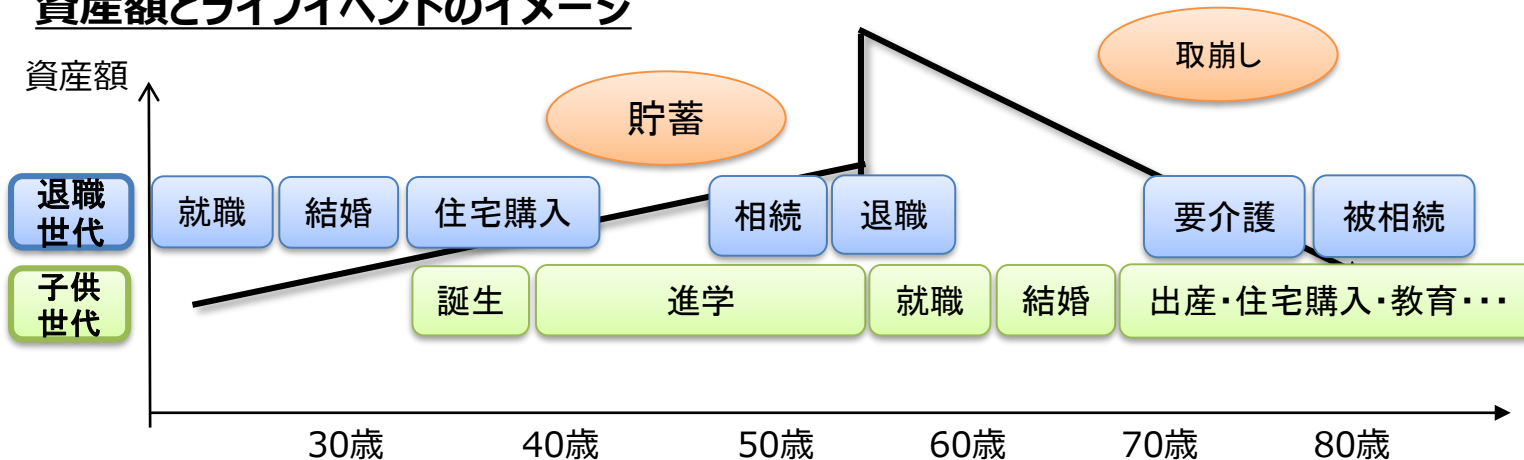
(注) 割合は、推計時点の60歳の人口と推計による将来人口との比較。1995年推計では、100歳のみの将来人口は公表されていない

(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「将来人口推計」(中位推計)より、金融庁作成

多様化の進展と「モデルの空洞化」

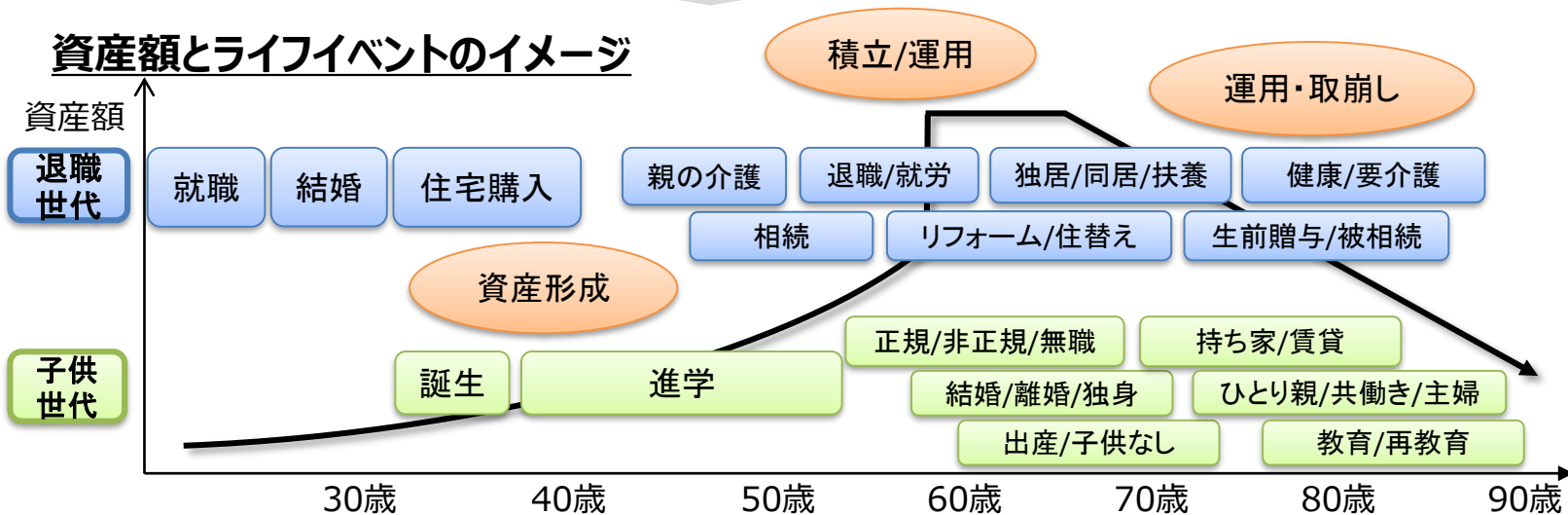
従来想定されていた
ライフスタイル

資産額とライフイベントのイメージ



多様化したライフスタイル

資産額とライフイベントのイメージ



人生の3大費用

人生の3大費用のイメージ

教育

(幼～高 = 公立、大 = 国立)

約 **800万円**

↓

(幼～大 = 私立)

約 **2,200万円**

「**教育**」は、幼稚園から高校までの「学習費総額」と、大学の「入学金・授業料・施設整備費」の計。私立大学は文系とした。

住宅

(一戸建て)

約 **4,100万円**

(マンション)

約 **4,400万円**

「**住宅**」は、住宅ローン利用者の住宅購入平均価格。

老後

(平均)

約 **8,000万円**

(ゆとりあり)

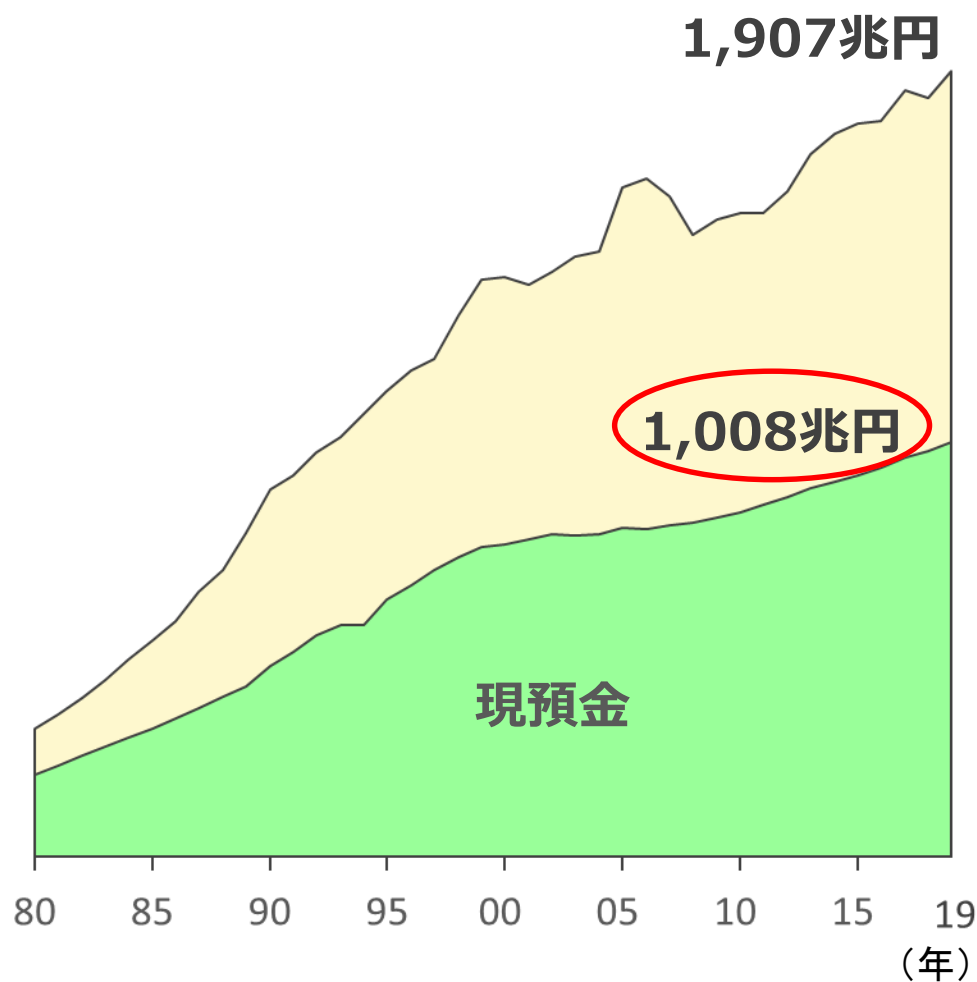
約 **1億500万円**

「**老後**」は、夫婦二人世帯の老後生活費25年間（世帯主65歳～90歳）分。

(出所) 内閣府、総務省、文部科学省、国民健康保険中央会、全国大学生生活協同組合連合会、住宅金融支援機構、生命保険文化センターの資料により試算。

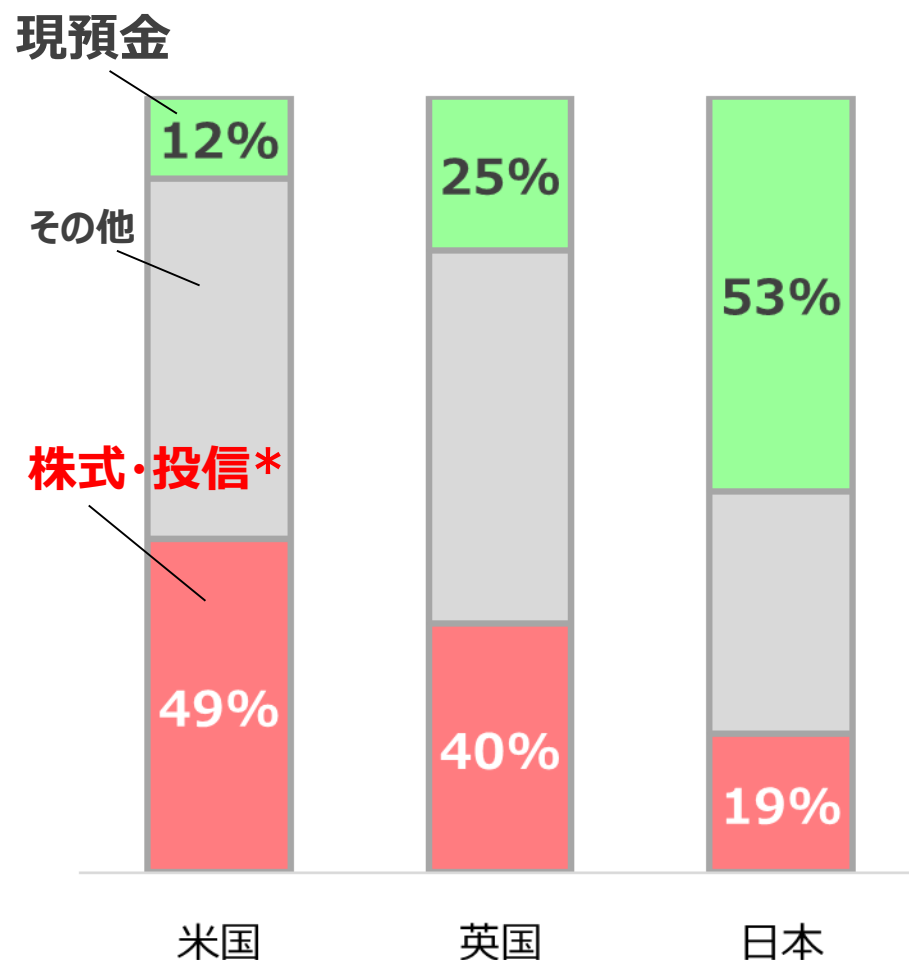
家計金融資産の推移と構成比

我が国の家計金融資産推移



(出典) 日本銀行より、金融庁作成

各国家計の株式・投信の割合 (2019年末)



(※) 株式・投信は間接保有を含む割合。

(出典) FRB、BOE、日本銀行より、金融庁作成

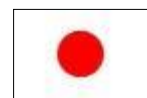
各国の家計金融資産の推移



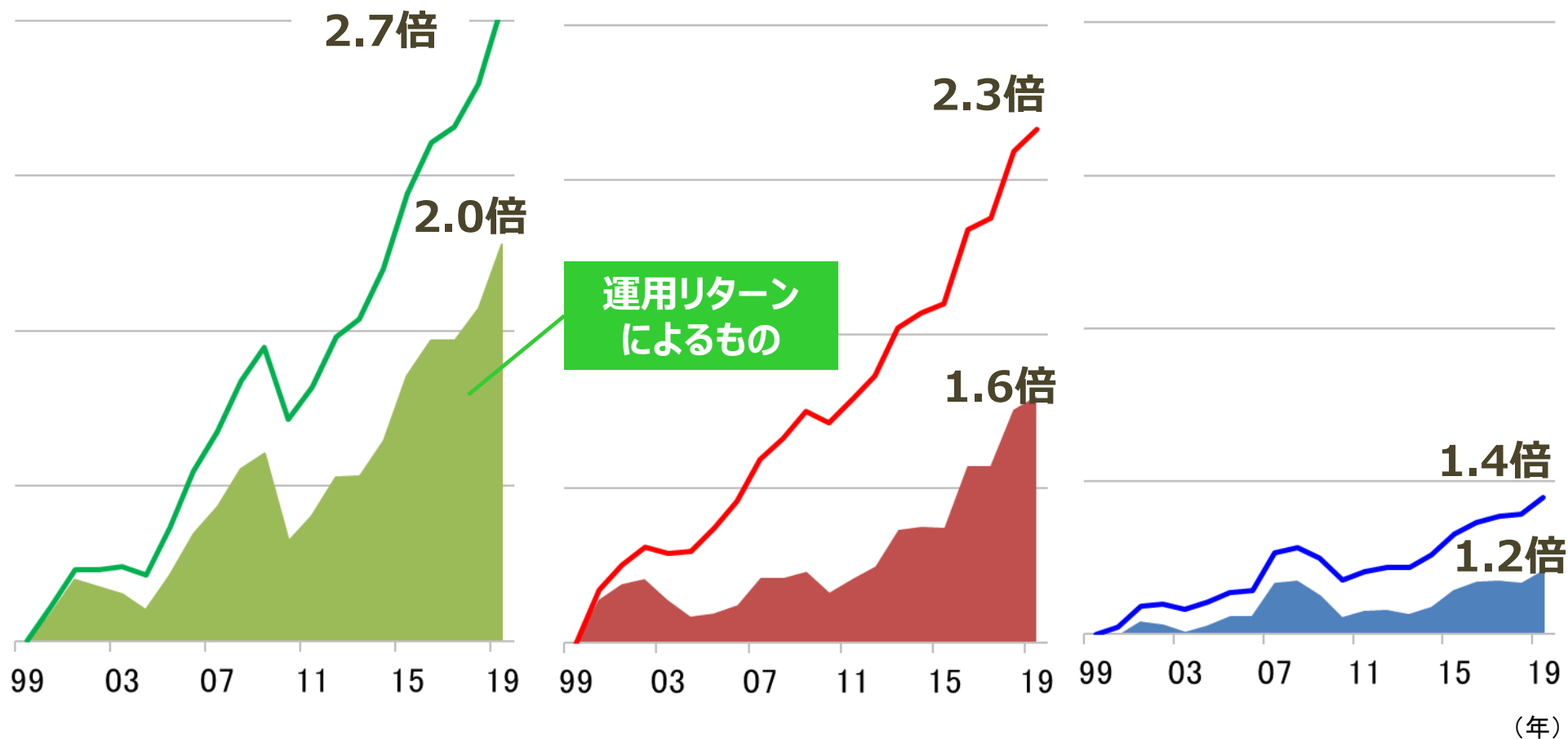
米国



英国



日本



(出典) F R B、B O E、日本銀行より、金融庁作成

金利の推移



(資料) Bloomberg, 日本銀行より、金融庁作成

(注) ~1999年1月は公定歩合、それ以降は無担保コール翌日物金利

(年)

投資は必要だと思うが、行わない理由

(%)

少額投資
を知らない

まとまった資金がないから

投資の知識がないから

投資は損がしそうで怖いから

どのように購入したら良いのか
分からないから

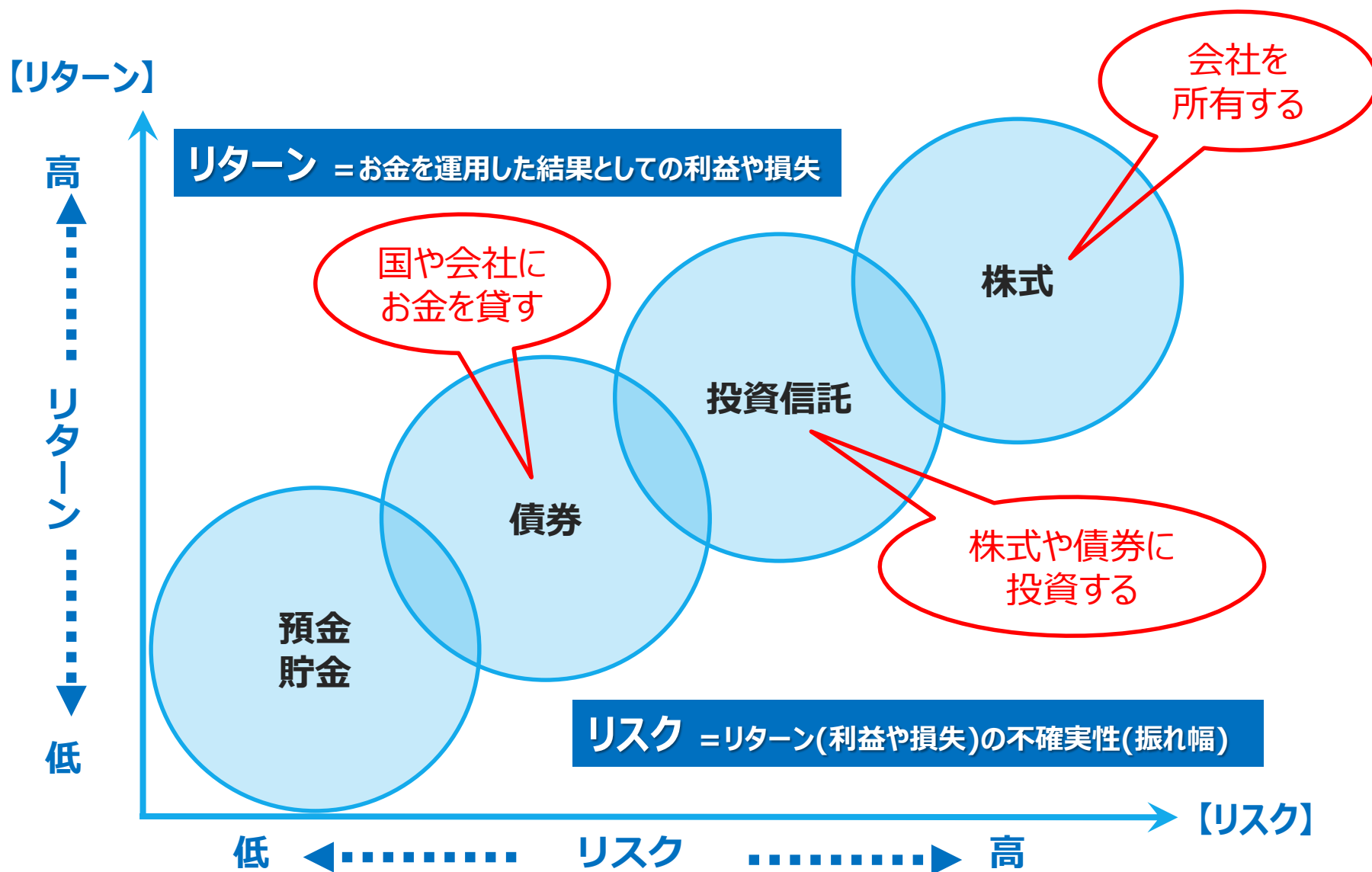
取引を行う時間的ゆとりがないから

積立投資
を知らない

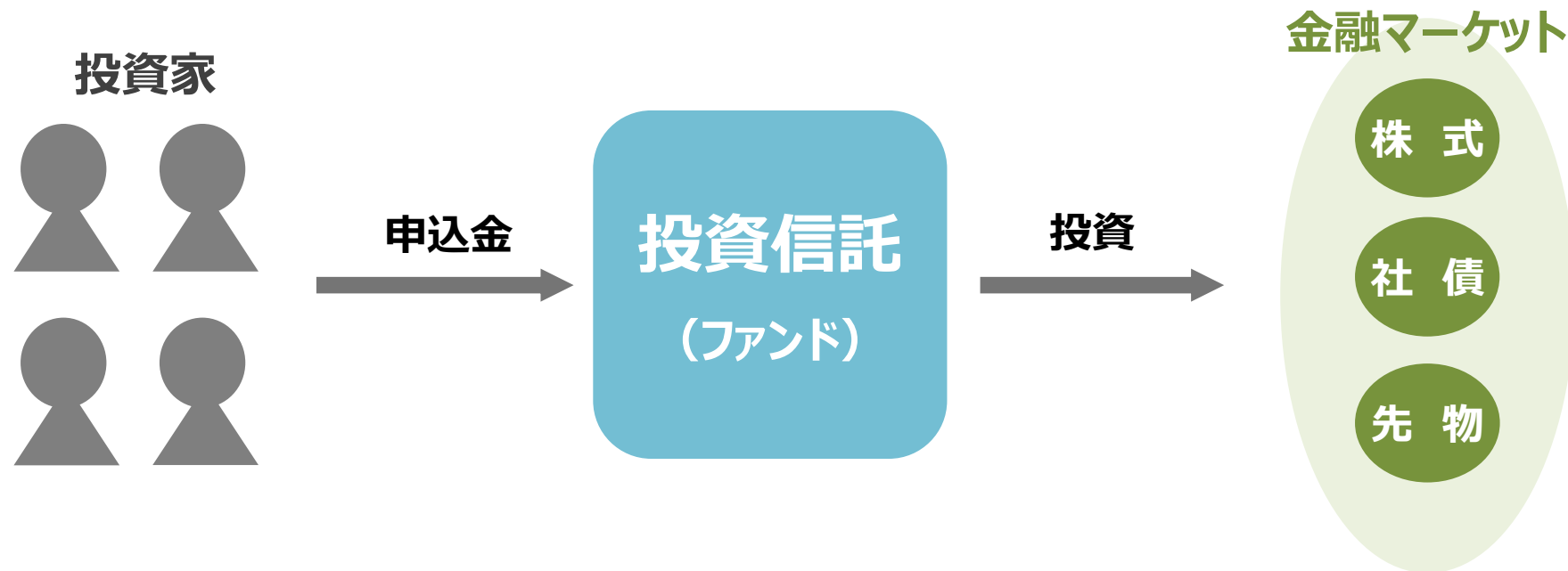
0 10 20 30 40 50 60 70 80

リスクとリターンの関係

(注) あくまでもイメージです。厳密な表現ではありませんので、ご注意ください。



「投資信託」の仕組み



- 投資をするほどのお金がない！
→ **少額から投資が可能** （例えば、1,000円から）
- どの会社に投資したらよいか、わからない！
→ **分散して投資が可能** （例えば、マーケット全体に）



分散投資

資産の分散

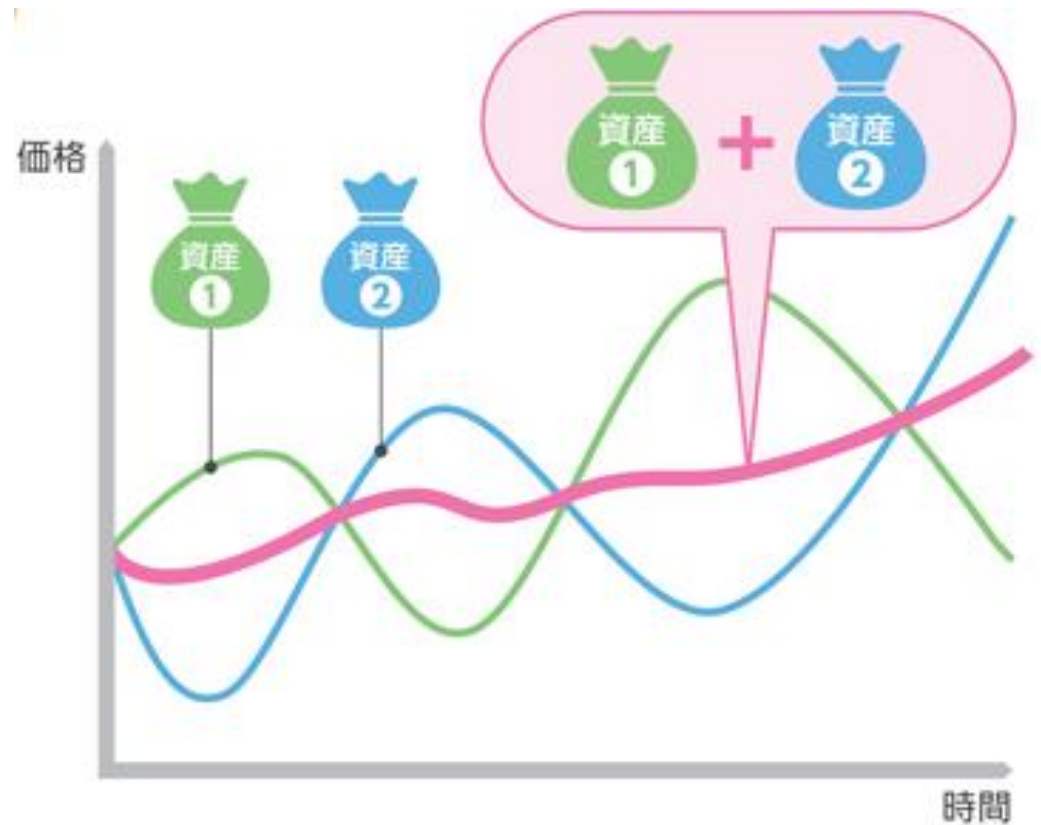
1つの資産だけに投資するより、
値動きの異なる複数の資産に分散
投資を行うことで、価格の変動が
小さくなる

→**リスクを軽減**

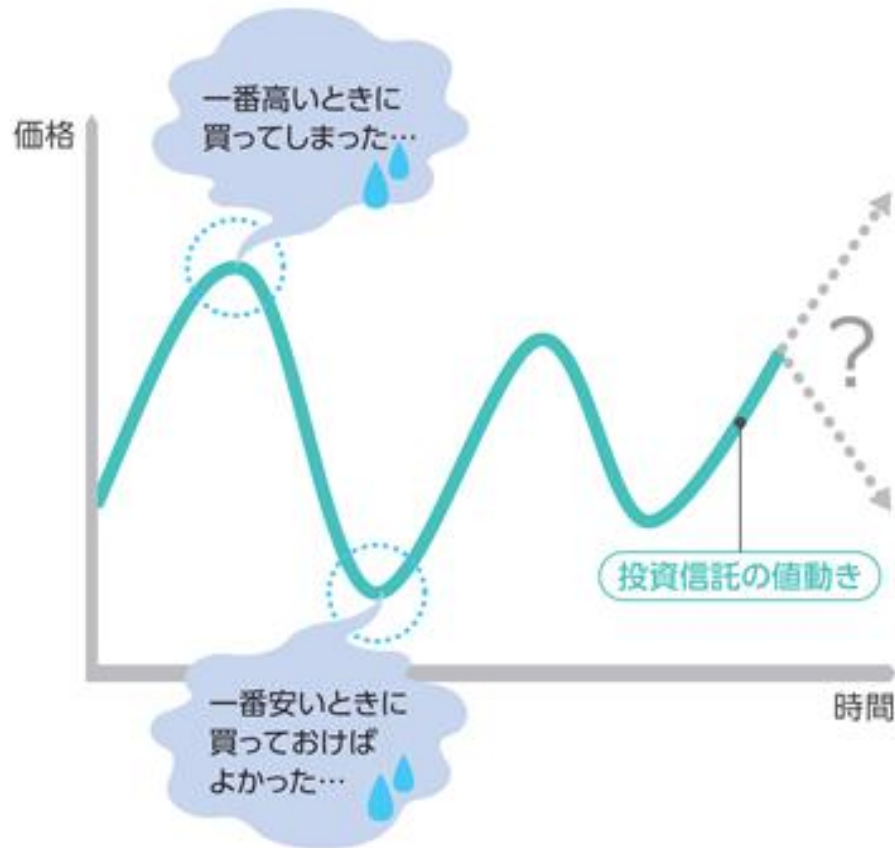
地域の分散

投資先の地域を分散することで、
より安定的に**世界経済の成長の
果実（利益）**を得ることが期待
できる

分散投資の効果（イメージ）



投資のイメージ



投資のタイミングをとらえるのは難しい...

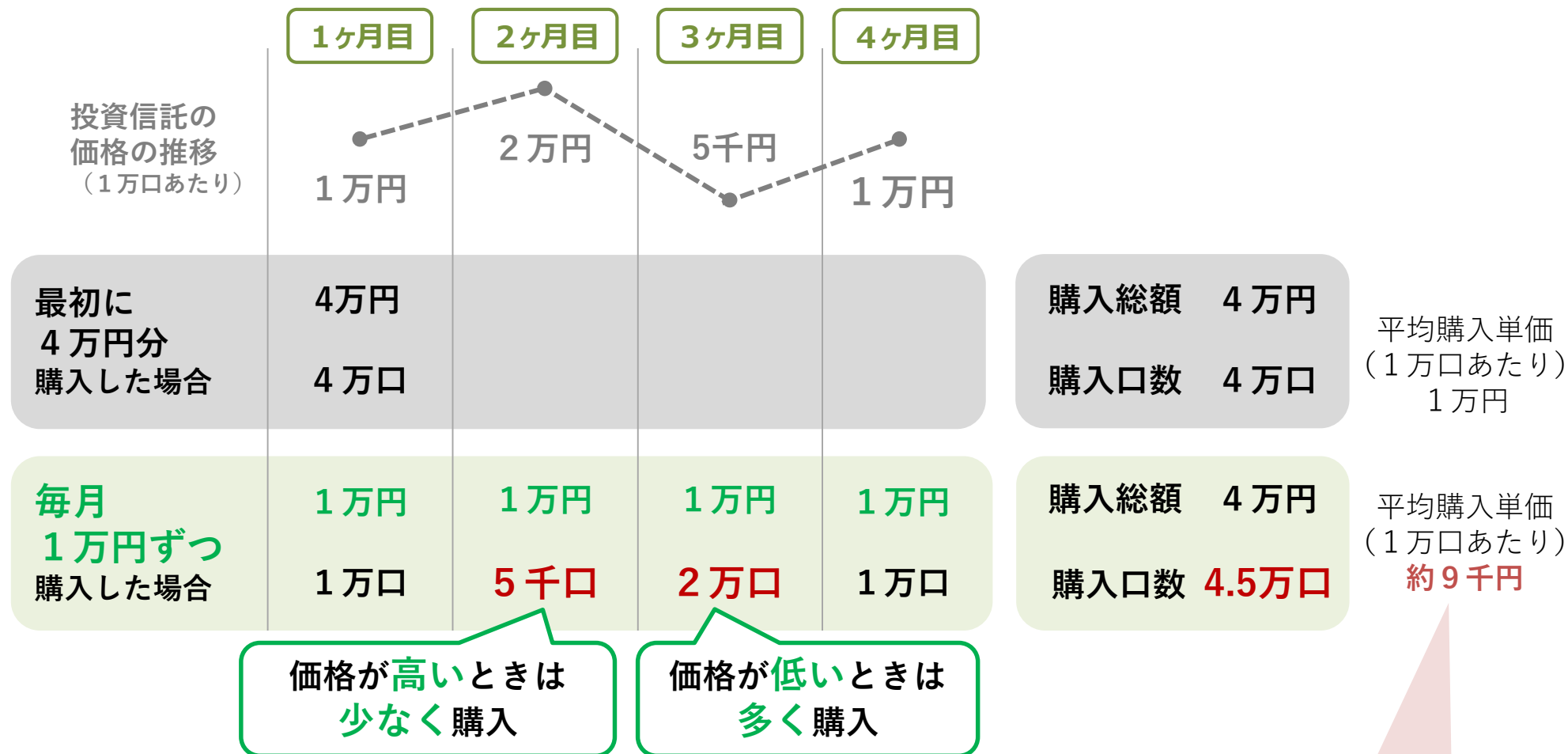
積立投資

「あらかじめ決まった金額」を
「続けて」投資すること

→安いときに買わなかったり、高いときにだけ買ってしまうことを防ぐ

積立投資

例えば、合計4万円の投資金額では

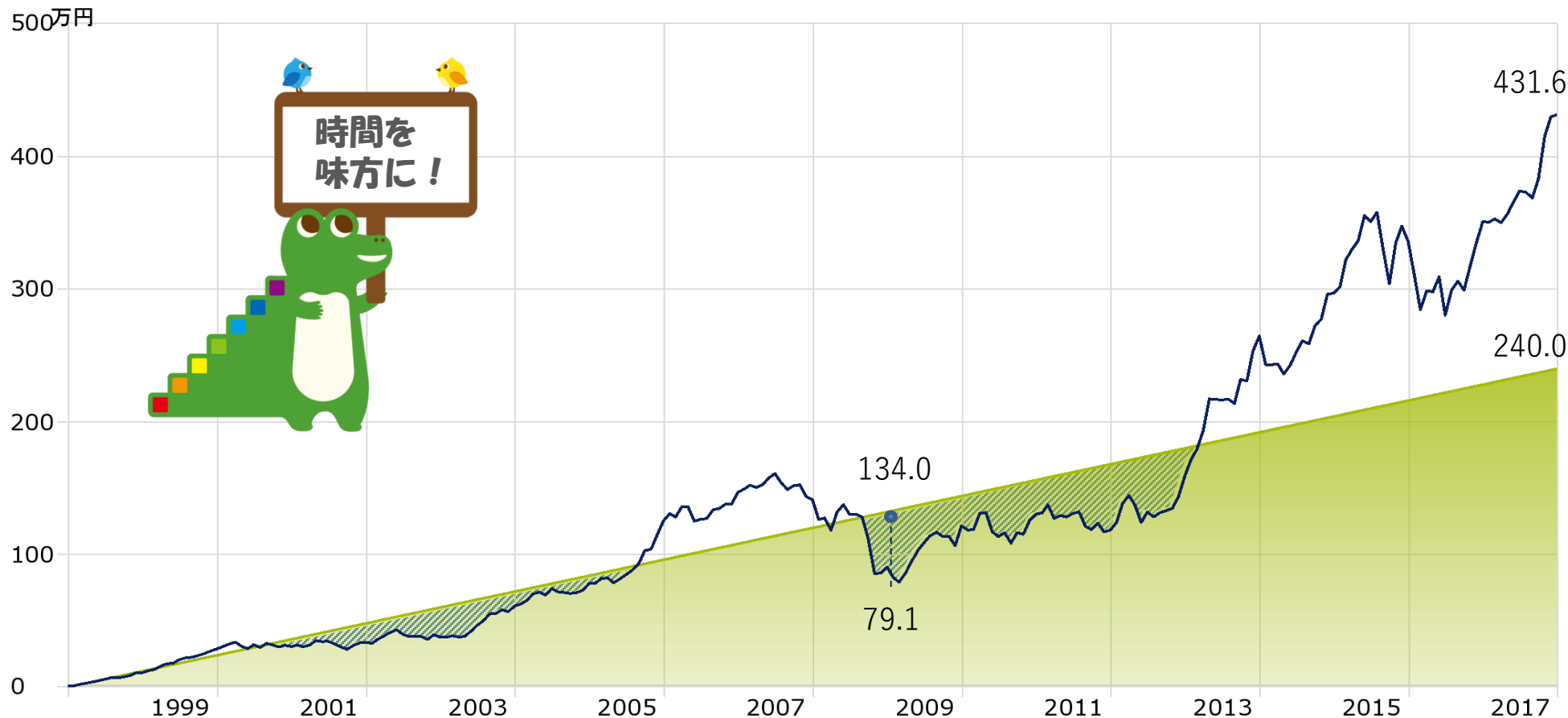


この例では、毎月1万円ずつ購入していた場合の方が、
平均購入単価を安くすることができた

長期・積立・分散投資の効果①

日経平均株価指数に20年間つみたて投資をした場合

期間: 1998/01/01 から 2017/12/31



— 日経平均株価指数

■ 積立総額

本資料は情報提供を目的としており、いかなる投資の推奨・勧誘を行うものではありません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。

本資料はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の著作物です。イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の承諾なしの利用、複製等は損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。

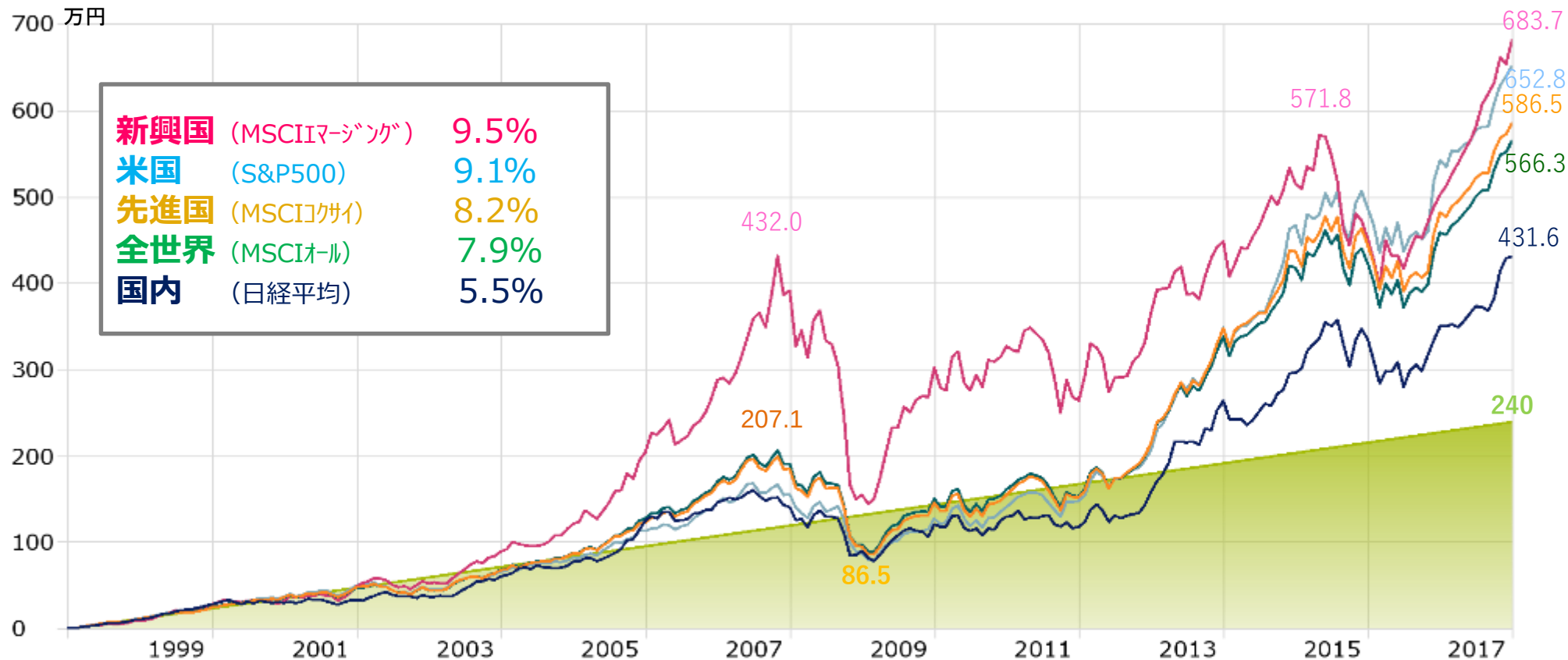
※株価指数に直接投資することはできません。データは投資コスト、税金などを考慮していません。

Copyright ©2018 Ibbotson Associates Japan, Inc. 15

長期・積立・分散投資の効果②

世界の主な株価指数に20年間つみたて投資をした場合

期間: 1998/01/01 から 2017/12/31



日経平均株価指数	431.6	MSCIコクサイ (gross)	586.5	MSCIオールカントリー (gross)	566.3
MSCI Emerging Markets (gross)	683.7	S&P 500 種株価指数 (配当込み)	652.8	積立総額	240.0

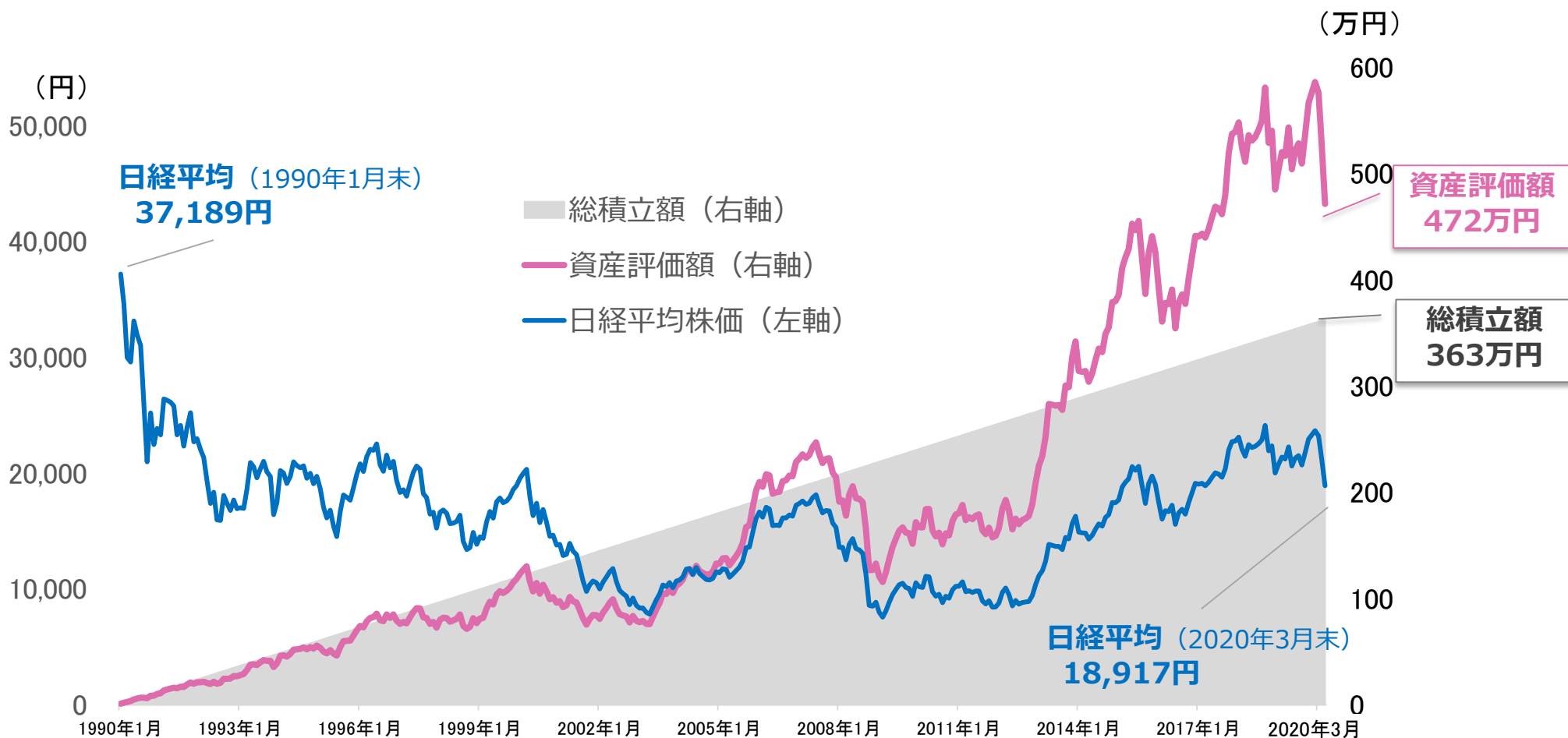
本資料は情報提供を目的としており、いかなる投資の推奨・勧誘を行うものではありません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保障するものではありません。
本資料はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の著作物です。イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の承諾なしの利用、複製等は損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。
※株価指数に直接投資することはできません。データは投資コスト、税金などを考慮していません。

Copyright ©2018 Ibbotson Associates Japan, Inc. 16

長期・積立・分散投資の効果（参考）

日経平均株価指数に30年間つみたて投資をした場合

（期間：1990年1月～2020年3月末）



（資料）Bloombergのデータを基に金融庁作成

・上記は毎月末1万円を積立投資したと仮定して試算。なお、税金・手数料等は考慮していない。

投資信託にかかる手数料

購入時

販売手数料

※この手数料がない場合もある
(ノーロード)

保有時

信託報酬
(運用管理費用)

※保有額に応じて継続的に支払う
(年率〇%)

売却時

信託財産留保額

※投資信託によって有無が異なる

信託報酬率が1%違う場合の資産総額

100万円を投資した場合のイメージ
信託報酬控除前リターン 4.5%



1. 「人生100年時代」の資産形成

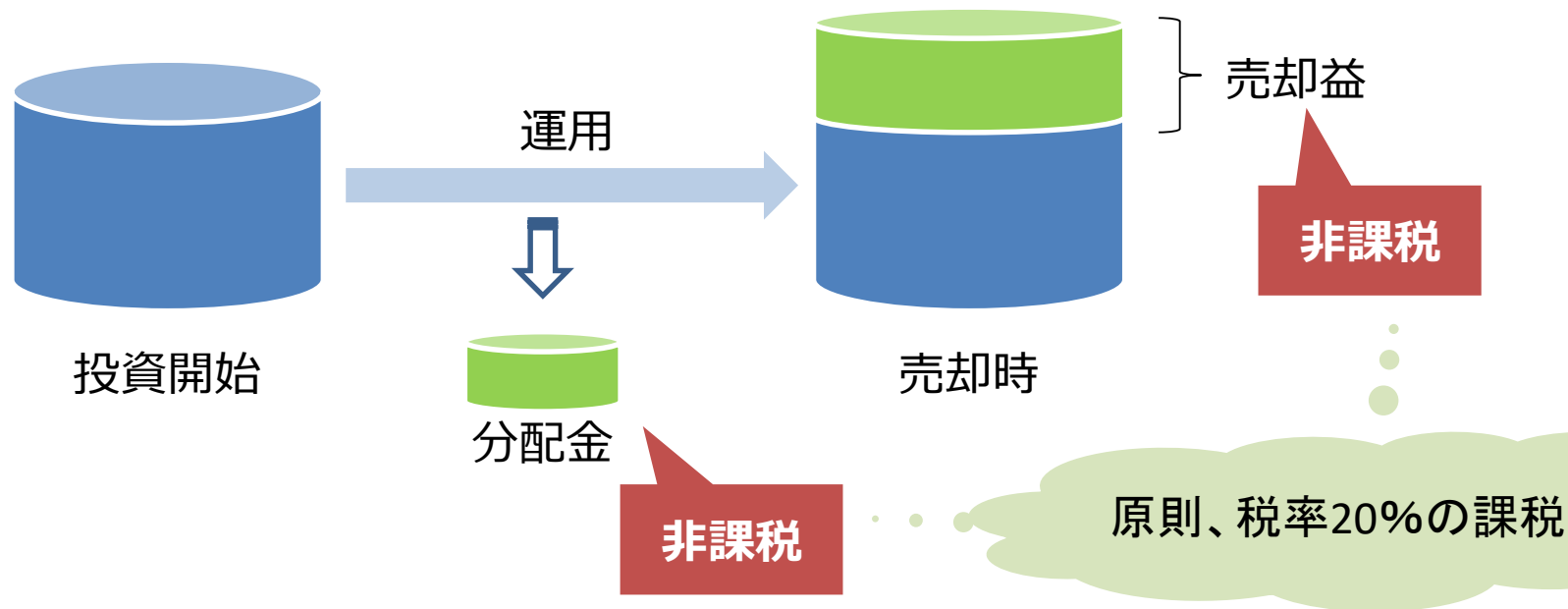
2. **NISA・つみたてNISAについて**

3. その他

NISA（少額投資非課税制度）とは

NISA口座での投資は、運用益（売却益・分配金）が非課税****

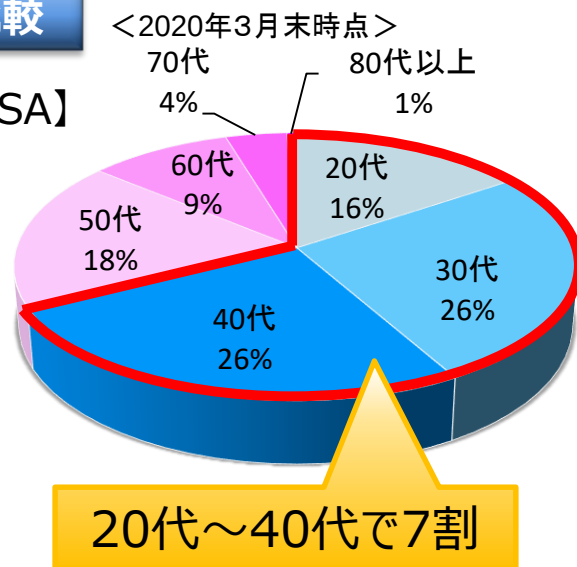
- ✓ 「一般NISA」と「つみたてNISA」の2種類
- ✓ 20才以上の日本居住者が対象
- ✓ 銀行・証券会社等で開設



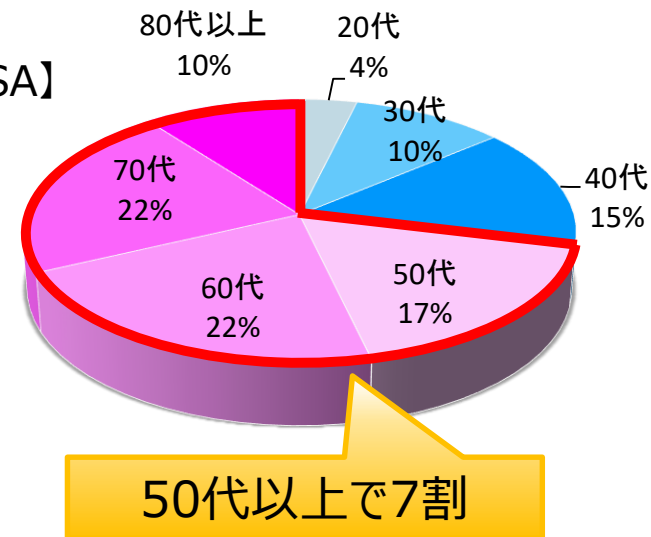
一般NISAとつみたてNISA（参考）

世代別比較

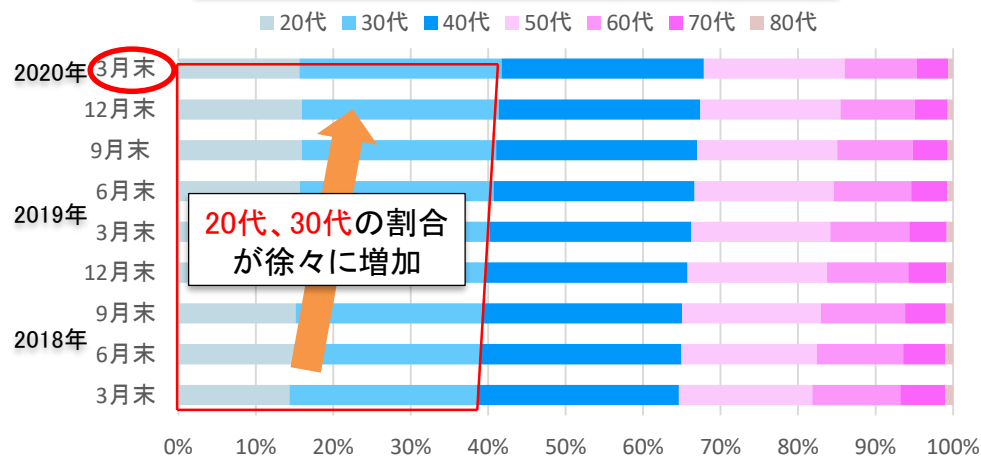
【つみたてNISA】



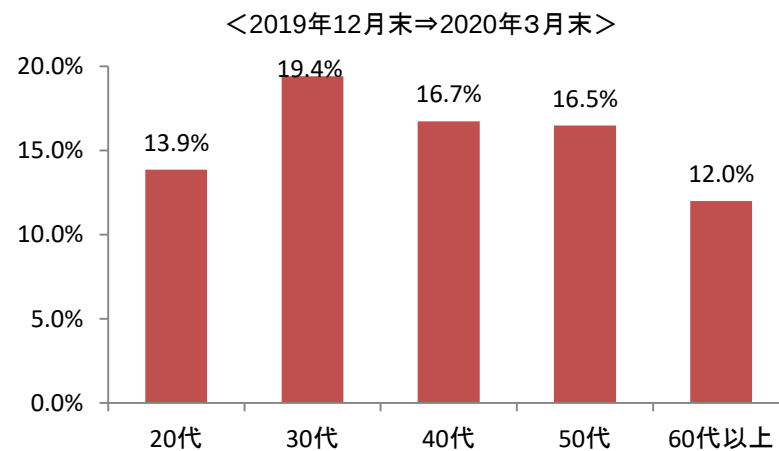
【一般NISA】



つみたてNISAの世代別比率の推移



つみたてNISAの世代別口座数増加率



つみたてNISAの対象商品

既存の投資信託（公募投信全体で約6,000本）の大半は、資産形成に不向きなもの

- ✓ 短期的な運用のもの
- ✓ 手数料の高いもの
- ✓ 毎月分配型のもの
- ✓ レバレッジをかけたもの（日経225の2～3倍の値動き）等

つみたてNISAの対象公募投資信託（9月15日時点 176本）

限定!

- **インデックス投資信託**（市場平均に連動した成果を目指すもの）が**基本（158本）**
 - インデックスは金融庁が指定（※日経平均株価やS&P500等）
 - 低コストの商品に限定（国内資産を運用：0.5%以下、海外資産を運用：0.75%以下）
- **アクティブ運用の投資信託**（市場平均を上回る成果を目指すもの）は、例外的に、**継続して投資家に支持・選択され、規模が着実に拡大しているもののみ（18本）**
 - 純資産額が50億円以上、運用実績が5年以上、資金流入超の実績が認められるもの
 - 低コストの商品に限定（国内資産を運用：1.0%以下、海外資産を運用：1.5%以下）
- **販売手数料は0%（ノーロード）**

資産形成（投資）にあたってのポイント

	ポイント	つみたてNISA
長期投資	投資を始めたら、長期間続けること！	長期保有を前提とした制度 非課税期間は20年間
積立投資	投資のタイミングをとらえるのは難しい！ 定期的に自動で買付けるほうが簡単！	買付けの方法は、 積立投資に限定
分散投資	分散投資でリスクを軽減！	対象商品は、 分散して投資する投資信託のみ
手数料	長期の運用成果に大きな影響！	信託報酬が低く、販売手数料もノーロード（0円）の 低コスト商品に限定
分配金	毎月、分配金を受け取ることは、長期の運用には向かない！	毎月分配型でない 商品が対象
税金	原則、運用益は課税（20.315%）	運用益は非課税



「つみたてNISA」なら、すべての
ポイントをおさえてる！

よくあるご質問

○ つみたてNISAでは、買い付ける商品を変更することは出来ないのか。

- 買い付ける商品は、いつでも変更することが出来ます。
- なお、過去につみたてNISAで買い付けた商品を、別の商品に入れ替えること（スイッチング）は出来ません。

○ つみたてNISAを始める際、既に一般NISAで保有している商品は、売却する必要があるのか。

- 既に一般NISAで保有している商品を売却する必要はありません。
- 購入時から5年間はそのまま非課税で保有可能で、売却も自由です。

○ つみたてNISAでは、20年以内に売却しなければ、非課税の恩典を受けられないのか。

- 20年以内に売却しなくても、非課税の恩典は受けられます。
- 20年の非課税期間が終了する際、その時の時価で課税口座（特定口座又は一般口座）に払い出されることとなり、つみたてNISAで保有していた間の値上がり分には課税されません。

もっと知りたい方は

金融庁「NISA特設サイト」をご覧ください。



NISAとは？

つみたてNISAとは？

制度について詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

教えて虫とり先生

金融庁1～3年目の若手職員が、投資ブロガーの方に「どんな投資をしているのか」など色んな疑問を聞いてみました。

本音が飛び出す！ つみたてNISA座談会

「必要な貯蓄額」「リスク資産をいくら持つか」「投資商品の選び方」などについて、投資ブロガーの皆さんびを伺いました。

<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/index.html>



1. 「人生100年時代」の資産形成

2. NISA・つみたてNISAについて

3. その他

FinTech について

- (1) FinTech (フィンテック) とは、金融 (Finance/ファイナンス) と技術 (Technology/テクノロジー) を組み合わせた造語です。

- (2) AI (Artificial Intelligence/人工知能)、ビッグデータ、IoT(Internet of Things)、ブロックチェーンといった先端技術を使い、スマートフォンやタブレットを通して、これまでにない革新的な金融サービスが生み出されています。

- (3) FinTechの進展により「お金」のかたち、「お金」の流れ、そして、金融を担うプレイヤーが変わり始めています。

主な FinTechサービス

(1) **決済サービス**

スマホ・Web決済・送金

(2) **融資サービス**

P2P (個人間) レンディング、ソーシャルレンディング

(3) **クラウド・ファンディング**

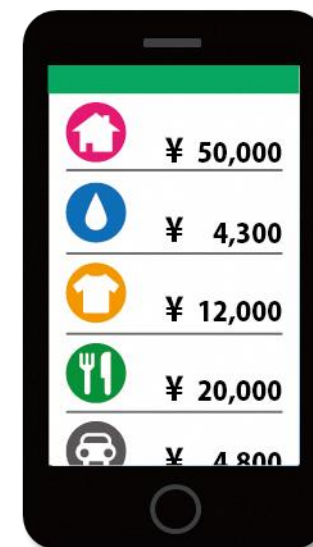
(4) **投資・運用サービス**

ロボアドバイザー

(5) **家計管理サービス (PFM)**

(6) **暗号資産 (仮想通貨)**

ブロックチェーン技術



インターネット取引を行うときの注意点

スマートフォンやパソコンで簡単に預貯金の残高の確認したり、お金を振り込んだりと、インターネット取引の利便性が高まっています。一方で、利用者のID・パスワード等を盗み、預金を不正に送金する事案が増えていますので、ご注意ください。

手口1：SMS等によるフィッシング

- 銀行等を騙ったメールやSMSのフィッシングメールを通じて、偽のログインサイトに誘導。
- インターネットバンキングのIDやパスワード、ワンタイムパスワード等の情報を窃取。

※フィッシングメール(SMS)の例

お客様の〇〇銀行口座がセキュリティ強化のため一時利用停止しております。再開手続きをお願いします。
<http://xxxxxx>

お荷物のお届けにあがりましたが、不在のため持ち帰りました。ご確認ください。
<http://xxxxxx>

手口2：スパイウェア

- スパイウェアとは、利用者の個人情報やアクセス履歴などを収集し、外部に自動的に送信するソフトウェア。
- 何らかの方法で利用者のパソコン等にスパイウェアを感染させ、利用者の知らない間にID・パスワード等を窃取。



対策

- ☐ 心当たりのないSMS等は開かない（金融機関がID等をSMSで問い合わせることはない！）
- ☐ 金融機関のウェブサイトは、事前に正しいURLをブックマーク登録しておく
- ☐ セキュリティ対策ソフトを最新版にする
- ☐ IDやパスワードは、他のサービスで利用するものと異なる設定にする

ご清聴ありがとうございました

金融庁「NISA特設サイト」で資産形成に関する
情報を掲載しています！是非、ご覧ください！



金融庁 NISA特設サイト

検索